

公安委員会	新型コロナウイルス感染症流行下	令和2年11月26日
説明資料No. 1	における尼国警察協力について	長 官 官 房
<p>1 尼国警察協力の概要</p> <p>(1) 趣旨</p> <p>尼国警察は2000年に国軍から分離。警察庁では尼国からの要請を受け、2001年以降、外務省やJICAと協力し、「インドネシア国家警察改革支援プログラム」を実施。市民のための警察を指向した改革を支援。</p> <p>(2) 現時点の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プログラムマネージャー（警視監）1名 ○ 専門家（都道府県警察から派遣）3名 <p>(3) 支援の概要</p> <p>① 国家警察長官アドバイザー兼プログラムマネージャーの常駐 政策助言やプログラムの調整・統括を実施。</p> <p>② 市民警察活動全国展開プロジェクトの推進 専門家の派遣や研修員の受入れにより、巡回連絡・問題解決活動を始めとする地域警察活動や現場鑑識活動に関する技術指導・人材育成を実施。</p> <p>③ 若手幹部候補生に対する研修 年1回、10名程度の尼国警察官を対象に約1か月の訪日研修を実施。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症流行下における取組状況</p> <p>(1) 専門家等の現状 全員一時帰国中。自宅でインターネットやメールを活用し業務を実施。</p> <p>(2) 主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン会議等による業務推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 尼国インストラクターによる現地研修に係る実施計画を調整。 ・ 尼警察大学院大学の学生に対し日本警察の概要等を講義。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策資機材の供与（近々供与予定） ニーズ調査及び供与に向けた調整を実施（JICA予算）。 ○ 尼国における鑑識活動の好事例の紹介 事件解決に至った好事例に関する資料を作成し、州警察本部に配布。 <p>(3) 今後の見通し 尼国の感染状況を見極めつつ、専門家等の再渡航をJICAと調整中。</p>		